

第3章 滋賀県の工業

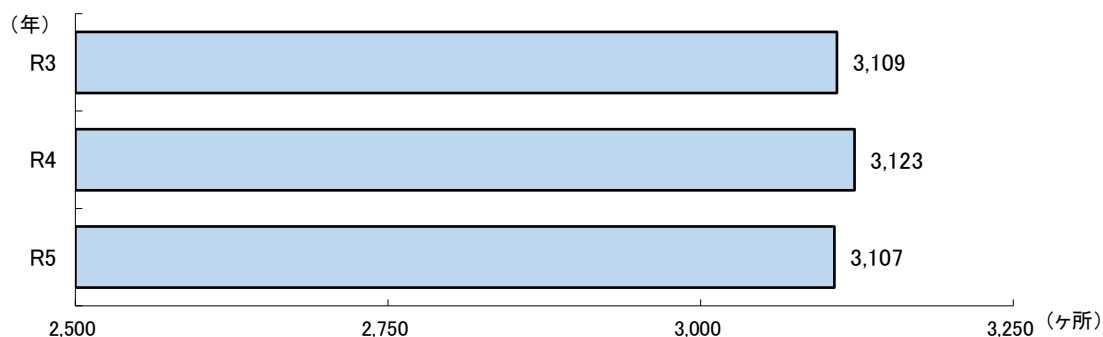
1. 概要

(1) 事業所数・従業者数・製造品出荷額等

2024年「経済構造実態調査」(製造業事業所調査)によれば、本県の工業は、事業所数3,107事業所、従業者数172,367人、製造品出荷額等9兆1,794億円、付加価値額2兆8,884億円となり、製造品出荷額等は全国第15位、付加価値額は全国第14位となっている。

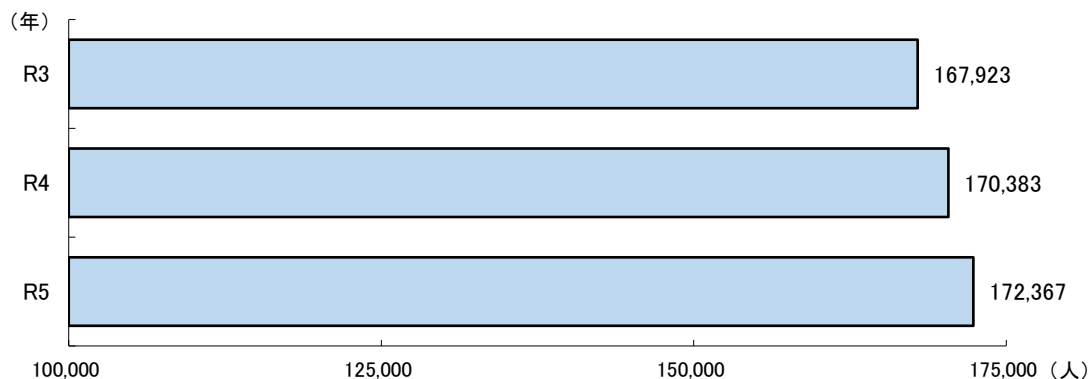
令和5年は、事業所数が前年比0.5%減、従業者数が前年比1.2%増、製造品出荷額等が前年比2.7%増、付加価値額が前年比1.0%増となっている(図3-1-1,2,3)。

◆事業所数の推移(図3-1-1)



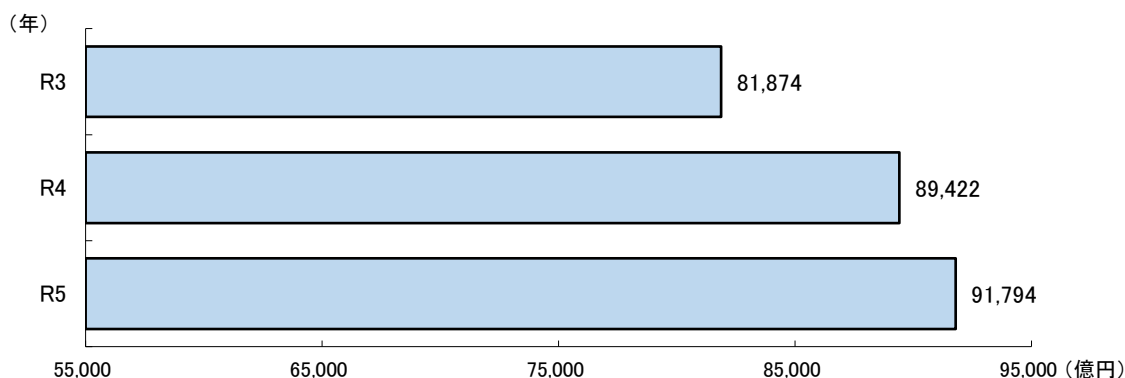
資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

◆従業者数の推移(図3-1-2)



資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

◆製造品出荷額等の推移(図3-1-3)



資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

(2) 本県産業に占める割合

①事業所数

経済センサス-活動調査から令和3年の事業所数を産業大分類別にみると、製造業は5,143事業所で県内総数の9.6%を占めており、「卸売業、小売業」、「サービス業(他に分類されないもの)」、「建設業」、「宿泊業、飲食サービス業」に次いで高い割合となっている(P5 図1-2-5を参照)。

②従業者数

同年の従業者数を産業大分類別にみると、製造業は165,973人で県内総数の26.9%を占めており、最も高い割合となっている(P6 図1-2-8を参照)。

(3) 従業者1人あたり各指標動向

従業者1人あたりでみると、製造品出荷額等は5,325万円、付加価値額は1,676万円である。

各指標に占める全国シェアは、事業所数で1.4%、従業者数で2.2%、製造品出荷額等で2.5%、付加価値額で2.6%となっており、前年同様に製造品出荷額等と付加価値額でのシェアが相対的に高くなっており、本県工業の高い付加価値生産性を示している。

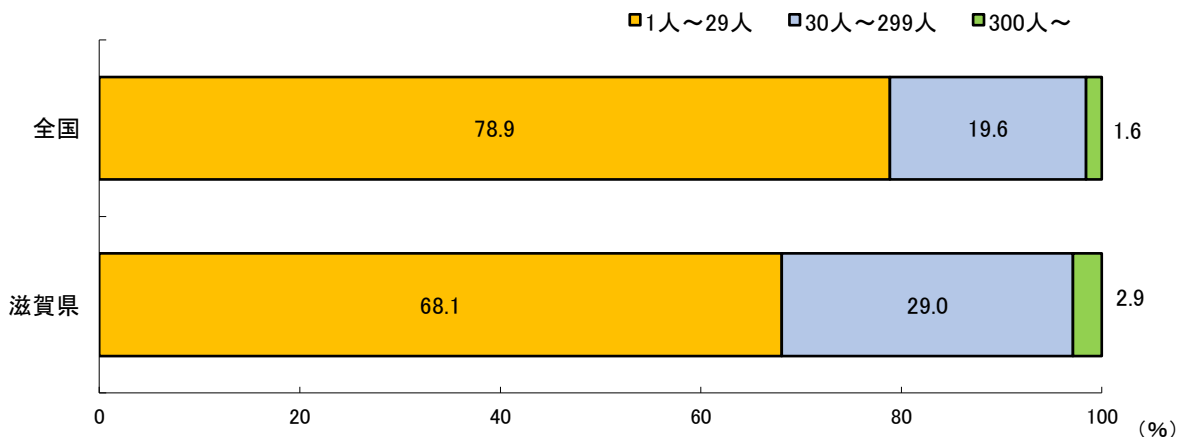
(4) 従業者規模別動向

2024年「経済構造実態調査」(製造業事業所調査)に従業者規模別にみると、事業所数では、全3,107事業所のうち従業者30人未満の小規模事業所が2,115事業所(構成比68.1%)で半数以上を占めている。30人以上の大規模事業所では90事業所(同2.9%)となっており、大規模事業所の構成比が全国(同1.6%)に比べ高くなっている。

製造品出荷額等および付加価値額では、従業者30人以上の事業所がそれぞれ93.9%、92.3%と大部分を占めている。

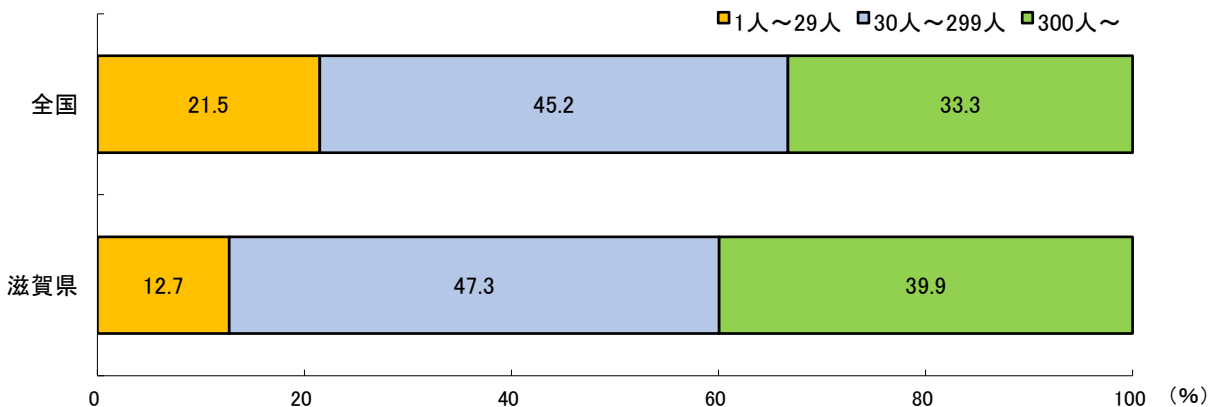
全国の構成比と比較すると、従業者30人以上の事業所数、従業者数、製造品出荷額等および付加価値額すべての構成比が全国を上回っている(図3-1-4,5,6,7)。

◆従業者規模別事業所数の割合(図3-1-4)



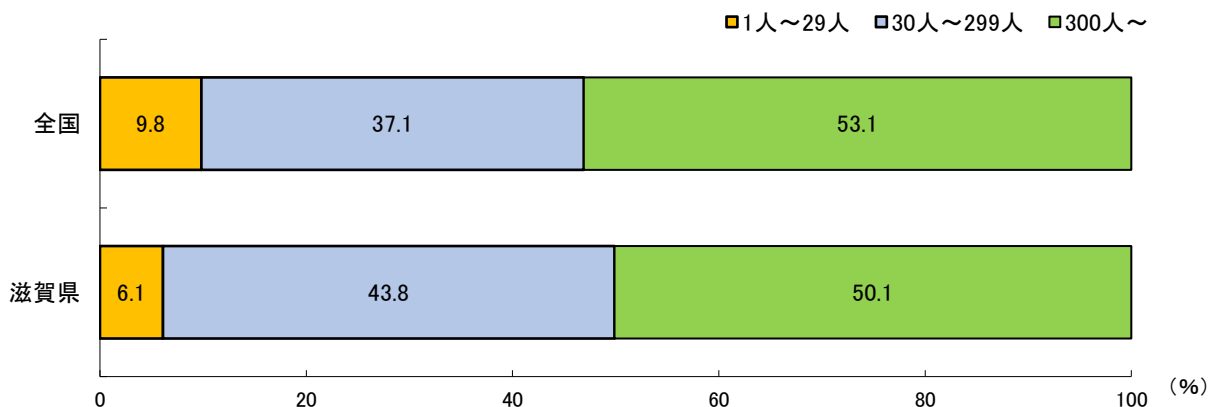
資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

◆従業員規模別従業員数の割合 (図3-1-5)



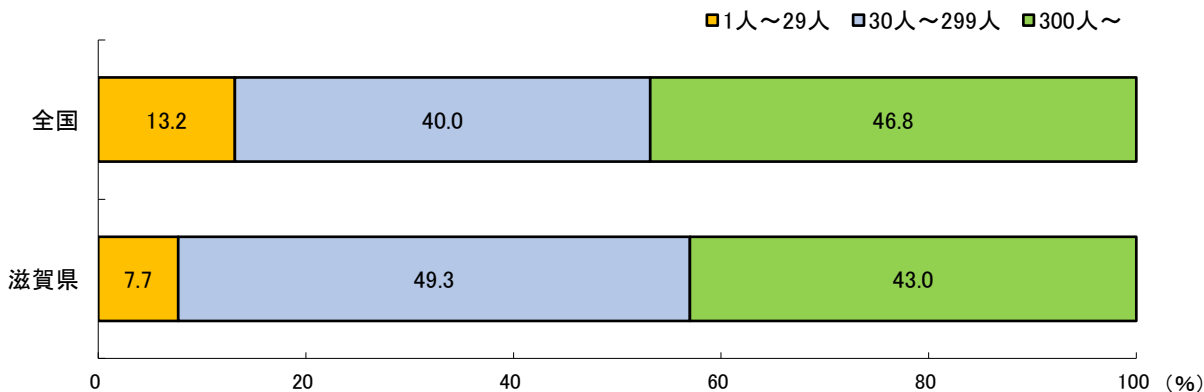
資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

◆従業員規模別製造品出荷額等の割合 (図3-1-6)



資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

◆従業員規模別付加価値額の割合 (図3-1-7)



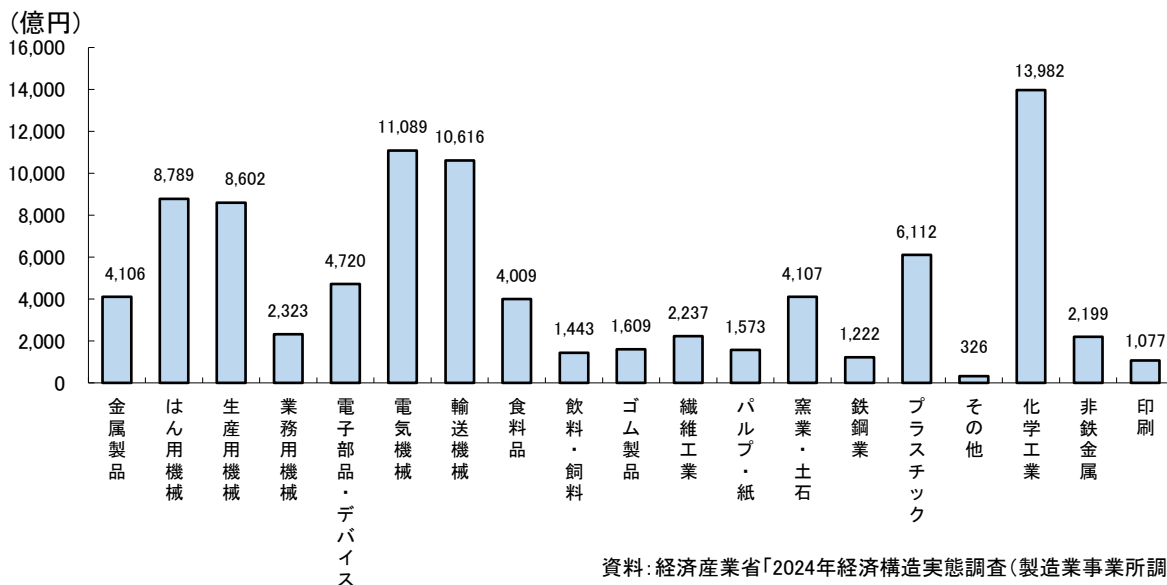
資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

2. 業種別動向

(1) 概要

2024年「経済構造実態調査」(製造業事業所調査)の製造品出荷額等を業種別にみると、化学工業13,982億円(構成比15.2%)で最も多く、次いで電気機械が11,089億円(同比12.1%)、輸送機械が10,616億円(構成比11.6%)、はん用機械8,789億円(同比9.6%)となり、この4業種で全体の約49%を占めている(図3-2-1)。

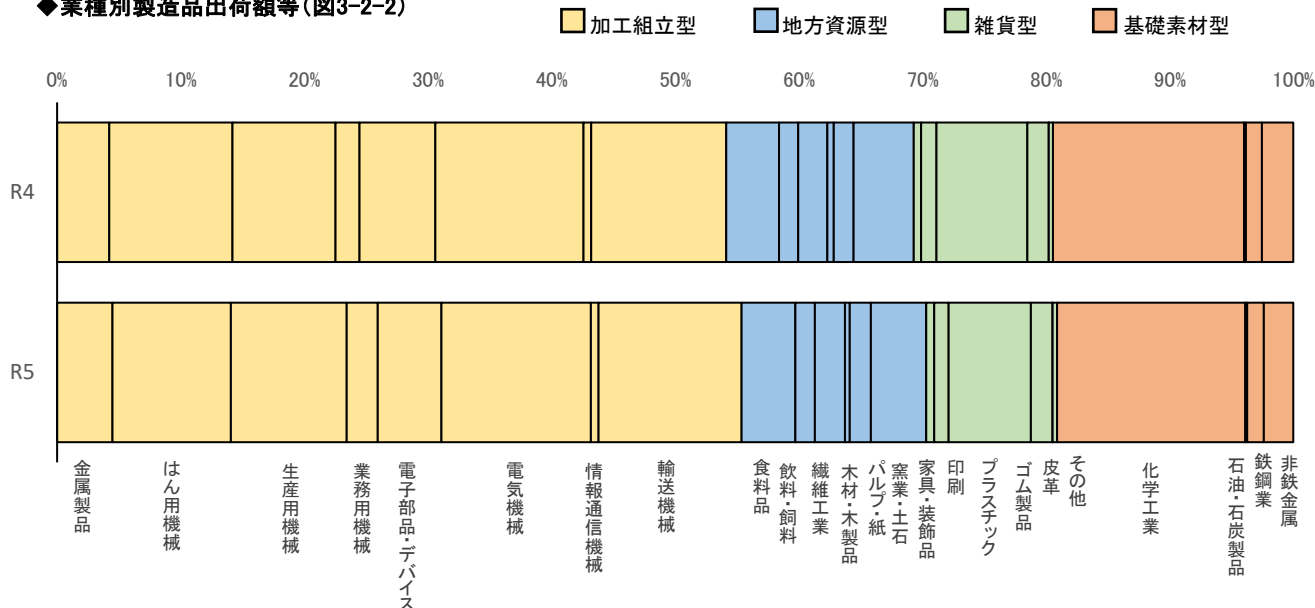
◆製造品出荷額等の業種別比較(1000億円以上の業種)(図3-2-1)



資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

また、2024年「経済構造実態調査」(製造業事業所調査)の製造品出荷額等を[加工組立型]、[地方資源型]、[雑貨型]、[基礎素材型]の4業種分類の構成で見ると、加工組立型業種が約55.4%と過半数を占め、次いで基礎素材型約19.1%、地方資源型14.9%、雑貨型10.6%となっている。本県は地理的に内陸であることから、鉄鋼業や非鉄金属、石油・石炭などの装置型産業の立地が少なく、昭和30年代の高度経済成長期を通じて、輸送機械や電気機械を中心とした内陸型の加工組立型業種が多く立地し、これが繊維産業に代わる本県工業の中心的産業となり、現在の本県の工業構造を築くに至っている(図3-2-2)。

◆業種別製造品出荷額等(図3-2-2)



資料: 経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

(2) 加工組立型業種

[金属製品、はん用機械、生産用機械、業務用機械、電子部品・デバイス、電気機械、情報通信機械、輸送機械]

昭和40年以降、本県工業の発展を牽引してきた加工組立型業種の中でも、輸送機械、電気機械、およびはん用機械については、令和5年の本県工業全体に占める割合(製造品出荷額ベース)が、3業種で33.2%を占めている。

(3) 地方資源型業種

[食料品、飲料・飼料、繊維工業、木材・木製品、パルプ・紙、窯業・土石]

昭和30～40年代に本県工業の主要業種であった繊維工業を中心とする地方資源型業種は、繊維産業の衰退とともにその構成比を低下させ、令和5年には14.9%にとどまっている。

しかし、繊維工業の特化係数(滋賀県の同業種の構成比/全国の同業種の構成比)は2.18であり、全国水準を大きく上回っている。

また、窯業・土石業についても、令和5年には全体の4.5%を占めており、特化係数は1.96となっている。

(4) 雑貨型業種

[家具・装備品、印刷、プラスチック、ゴム製品、皮革、その他の製造業]

プラスチックは、構成比で6.7%と全体で6番目に高い業種となっている。また、同業種の特化係数は1.86と本県工業の中で特化した業種のひとつとなっている。これは、本県に同業種の大規模工場が多く立地していることによるものと考えられる。

(5) 基礎素材型業種

[化学工業、石油・石炭製品、鉄鋼業、非鉄金属]

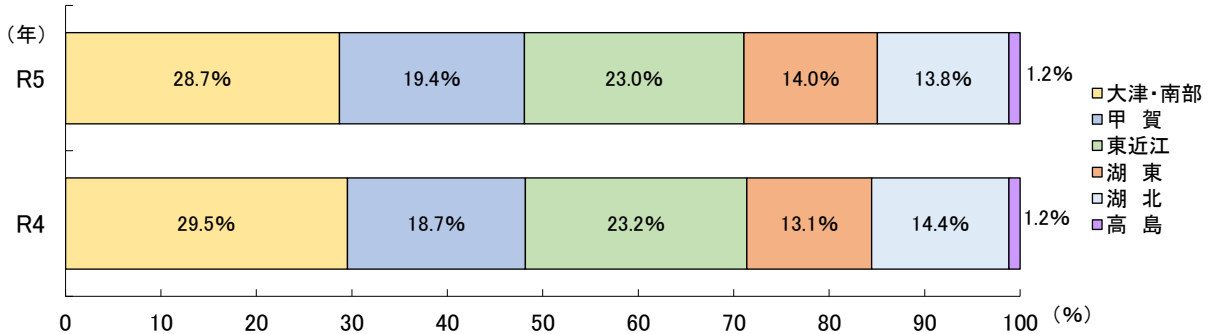
化学工業は構成比15.2%で令和5年では1番目に高い業種である。

3. 地域別動向

(1) 概要

本県工業の地域別の状況をみると、2024年「経済構造実態調査」(製造業事業所調査)の事業所数、従業者数、製造品出荷額等において、いずれも大津・南部地域の構成比がもっとも高くなっている(図3-3-1)。これは、当地域での産業集積度の高さに加え、大規模な事業所が多く立地していることによるものであると考えられる。

◆地域別製造品出荷額等の構成比(図3-3-1)



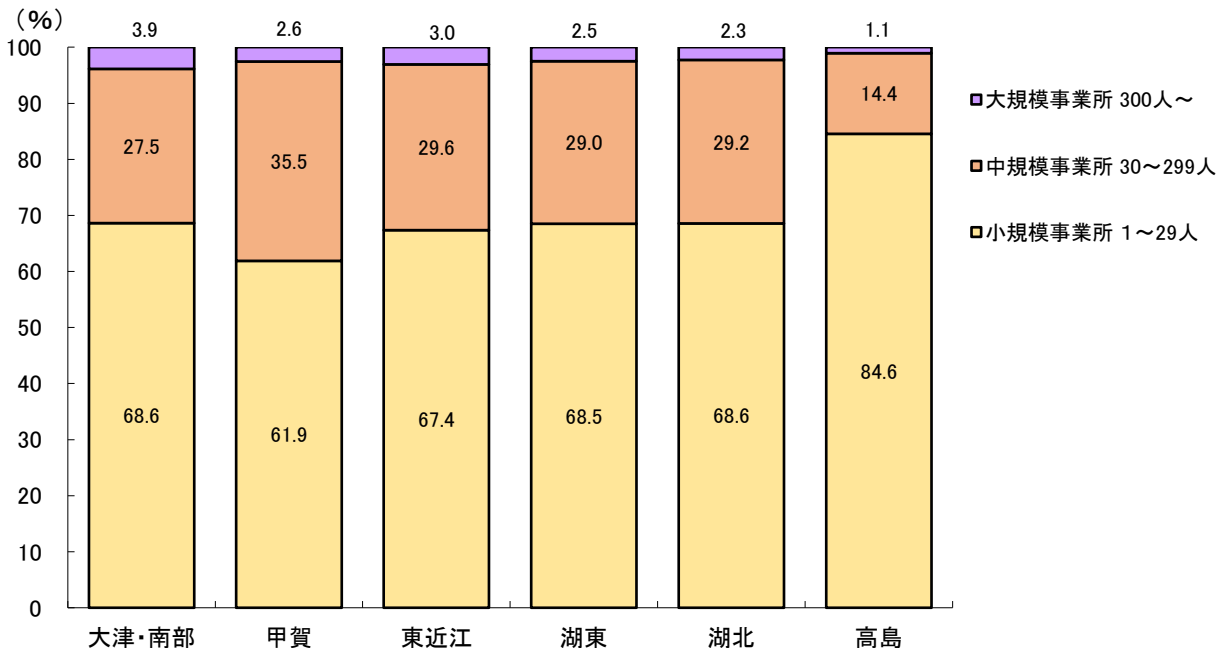
資料：経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

(2) 地域別・規模別事業所数

事業所数では、大津・南部地域が934事業所(構成比30.1%)で最も多く、以下、甲賀588事業所(同18.9%)、東近江558事業所(同18.0%)の順となっている。

従業者規模別の構成比では、産業集積の進んだ大津・南部地域で大規模事業所(従業者300人以上)の構成比が3.9%と他の地域と比較すると高く、一方高島地域では小規模事業所の内、従業者1~29人の構成比が84.6%と高くなっている。また、甲賀地域では、中規模事業所(従業者30~299人)の構成比が35.5%と他地域と比較すると高くなっている(図3-3-2)。

◆地域別・規模別事業所数の構成比(令和5年)(図3-3-2)



資料：経済産業省「2024年経済構造実態調査(製造業事業所調査)」

4. 工場立地動向

(1) 工場立地の推移

本県の工場立地は、近畿、中京、北陸の3経済圏への近接性と、高速道路に代表される広域輸送の利便性などに支えられ進展してきた。

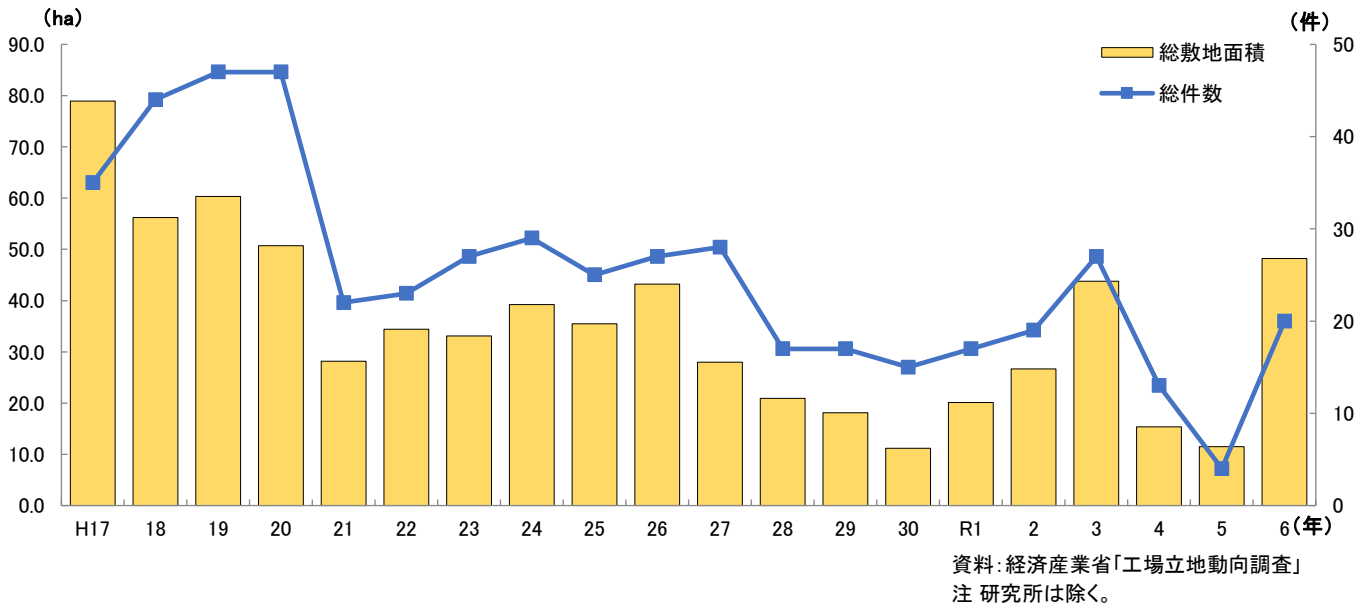
昭和30年代の高度経済成長期以降、道路、工業団地、工業用水等の産業基盤整備が進展し、工業立地が隆盛となり、現在のモノづくり県としての構造を築くに至った。

オイルショック以降は、経済の低成長を反映し、高度成長期に比べ低い水準で推移し、バブル崩壊後はさらに低調となっていた。

平成15年以降、長期の不況や円高等による国内生産の再編、海外生産の拡大等に伴う停滞傾向を脱し、景気の回復を受けて企業の設備投資が活発となり、また、新名神高速道路の開通で県内の利便性が高まったことなどから、平成20年まで高い水準で推移した。しかし、同年後半の急速な景気の減退の影響を受け、平成21年以降、工場立地件数は30件以下で推移している。

昨今はサプライチェーンの再構築や県内企業の設備投資意欲の高まりはあるものの、産業用地の不足の影響を受け、立地件数は低い水準で推移している(図3-4-1)。

◆工場立地動向(件数・面積)(図3-4-1)



(2) 工場立地件数と立地面積

工場立地動向調査によれば、工場を建設する目的をもって令和6年中に1,000㎡以上の用地を取得(借地を含む)した件数は20件、立地面積は482,722㎡であった。前年に比べ、立地件数は16件、敷地面積は367,575㎡の増加となった(表3-4-1)。

◆工場立地の推移(過去20年)(表3-4-1)

年	H17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	6
立地件数(件)	35	44	47	47	22	23	27	29	25	27	28	17	17	15	17	19	27	13	4	20
敷地面積(ha)	79.0	56.2	60.3	50.7	28.2	34.4	33.1	39.2	35.5	43.2	28.0	20.9	18.1	11.2	20.1	26.7	43.8	15.4	11.5	48.3

注1) 平成26年～ 計の数字は電気業を除いた件数を表示。
注2) 研究所は除く。

資料: 経済産業省「工場立地動向調査」

5. 技術開発

(1) 特許等の出願状況

令和6年の全国の特許出願件数(日本人によるもの)は237,169件で、対前年比は104%(前年228,936件)である。うち、本県の出願件数は994件、対前年比では93%(1,067件)である。

本県における特許以外の産業財産権は実用新案が17件(前年25件)、意匠が79件(前年64件)、商標が661件(前年659件)であり、知財を生み出し、保護・活用しようとする中小企業の動きがみられる。

近畿の他府県の状況をみてみると、大阪府が産業財産権全体で44,083件と圧倒的に多く、次いで、京都府(13,095件)、兵庫県(8,456件)となっている。

(2) 公設試験研究機関

本県には工業技術総合センターと東北部工業技術センターの2つの工業系公設試験研究機関があり、技術の高度化や地場産業の活性化、エネルギー関連や医療・健康・介護関連の新産業の創造などによる県内産業の振興を図るため、県内企業に対する技術相談や設備利用、依頼試験、研究開発、情報提供などの業務を幅広く行っている。

特に、研究開発に当たっては、県内企業の新製品開発、技術開発を強力に支援するため、外部資金の獲得をめざし、研究の企画段階から産官もしくは産学官による連携を推し進めている。令和6年度は、両センターあわせて55テーマの共同研究を実施している。

また、センターの保有機器を企業に開放する設備利用については、両センターで年間10,000件程度の利用があり、企業の新製品開発や品質管理などに役立てられている。

さらに、両センターでは最新の技術動向を紹介するためのセミナーや、センター保有機器の活用方法を解説する技術普及講習会を開催し、技術人材の育成にも取り組んでいる。

なお、平成30年度から令和6年度まで、両工業技術センターが企業から受けた依頼試験、設備利用、技術相談の件数は以下の表のとおりである(表3-5-1)。

◆平成30～令和6年度の公設試験研究機関の利用件数(表3-5-1)

年 度		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	
工業技術総合センター		18,438	17,569	14,971	13,803	13,702	11,595	12,380	
東北部工業技術センター		13,376	13,716	12,954	11,549	11,623	11,703	10,953	
合 計		31,814	31,285	27,925	25,352	25,325	23,298	23,333	
内 訳	依頼 試験	工業技術総合センター	670	613	456	961	1,002	760	618
		東北部工業技術センター	1,540	1,919	1,631	1,734	1,536	1,001	1,147
		小 計	2,210	2,532	2,087	2,695	2,538	1,761	1,765
	設備 利用	工業技術総合センター	7,502	7,600	6,950	6,680	6,413	6,185	6,128
		東北部工業技術センター	4,440	4,465	3,864	3,575	3,447	3,567	3,672
		小 計	11,942	12,065	10,814	10,255	9,860	9,752	9,800
	技術 相談	工業技術総合センター	10,266	9,356	7,565	6,162	6,287	4,650	5,634
		東北部工業技術センター	7,396	7,332	7,459	6,240	6,640	7,135	6,134
		小 計	17,662	16,688	15,017	12,402	12,927	11,785	11,768

6. 地場産業

(1) 概要

地場産業は、地域の歴史、風土など地域資源を反映し、地域経済の基盤となっている産業であり、滋賀県では下表に示す9つの産地が形成されている。

生産額の推移が順調に伸びを示してきた甲賀・日野製薬産地では、国の使用促進施策もあり後発医薬品は順調に推移しているが、個店薬局向けの一般用医薬品および配置用家庭薬については販売が低迷している。彦根バルブ産地では近年順調に生産額を伸ばしている。その他の産地では、新型コロナウイルス感染症の影響により多くの産地が生産額を落としたが、彦根ファンデーション、湖東麻織物、高島綿織物および高島扇骨産地では国内回帰の風潮もあり、回復傾向がみられている。しかしながら、いずれの産地も原材料および原油価格の高騰による価格転嫁が進んでいないことや後継者や従業員の不足などの課題を抱えている。

全体としては、人口減少やライフスタイルの変化に伴う需要の縮小、海外製品との価格競争等により、厳しい市場環境、経営環境にあるが、平成28年3月に制定された「近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する条例」等を受け、需要拡大に向けた情報発信やPR、新商品の開発、新市場への展開など、精力的に活動を推進している(表3-6-1)。

◆県内の地場産業(表3-6-1)

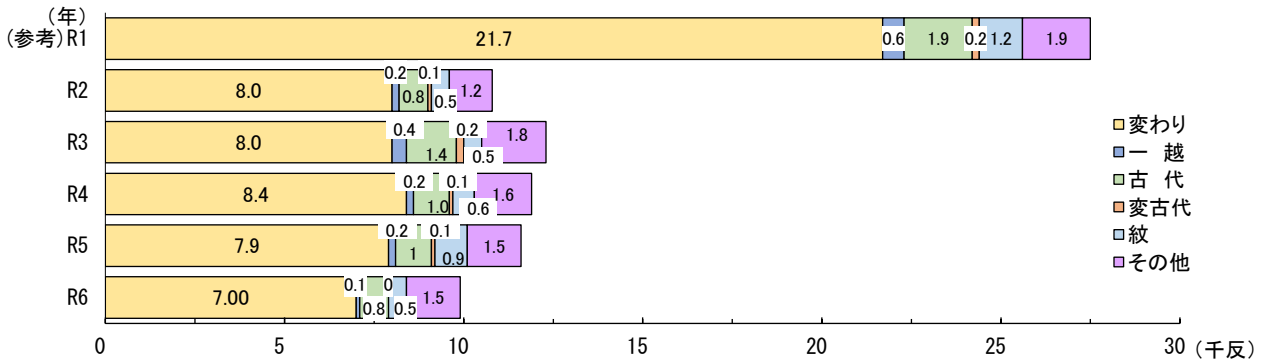
	産地名	地域	代表的な産品	組合名
1.	ちりめん 長浜縮緬	長浜市	ちりめん、つむぎ	浜縮緬工業協同組合
2.	彦根バルブ	彦根市、東近江市、 米原市、愛荘町 多賀町、野洲市 他	水道用弁、産業用弁、船用弁	滋賀バルブ協同組合
3.	彦根仏壇	彦根市、米原市 愛荘町 他	仏壇、仏具	彦根仏壇事業協同組合
4.	彦根ファンデーション	彦根市、東近江市、 甲良町、多賀町、豊郷町	ブラジャー、ガードル、ショーツ、ボディースーツ、キャミソール	ひこね繊維協同組合
5.	湖東麻織物	東近江市、愛荘町 他	服地、不織布・芯地	湖東繊維工業協同組合 滋賀県麻織物工業協同組合
6.	甲賀・日野製薬	甲賀市、日野町 他	医療用医薬品、一般用医薬品、配置用家庭薬	滋賀県製薬工業協同組合
7.	信楽陶器	甲賀市	レンガタイル等建材類、庭園用品類、食卓用品類、花器類、植木鉢類	信楽陶器工業協同組合 信楽陶器卸商業協同組合
8.	高島綿織物	高島市	綿クレープ、厚織(ゴム資材、帆布、その他資材)	高島織物工業協同組合
9.	高島扇骨	高島市	扇骨、扇子	滋賀県扇子工業協同組合

(2) 産地別動向

①長浜縮緬

絹織物業は和装需要の減退(令和元年の64%減)や原料高騰、業界特有のいびつな流通取引による構造的な不況に加え、織物に携わる従業者の減少、事業者の廃業、職人高齢による減産、織機や精練設備等の老朽化による不具合発生や供給先の廃業や製造終了等で生産基盤自体も弱体化しており、事業存続が危ぶまれる状況である(図3-6-1)。

◆長浜縮緬産地 品種別生産額の推移(図3-6-1)

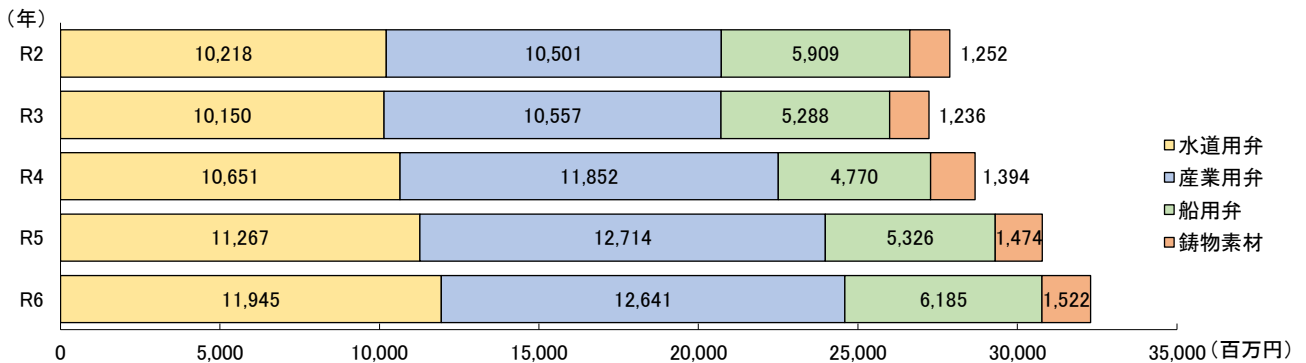


資料: 浜縮緬工業協同組合

②彦根バルブ

令和6年通期の生産高は前年比4.9%増となり、特に船用弁は世界的な環境規制対応船の建設増が寄与し、昨年を引き続き、二桁の伸びとなった。今後も公共事業の投資継続、製造業や建設業の新規設備投資、造船業界の新造船建造数増加、鋳物素材の新規契約に期待するが、年間生産個数の横ばいや為替円安の長期化、人材不足・材料・人件費等諸経費の高騰など、環境の変化を更に注視する必要がある(図3-6-2)。

◆彦根バルブ産地 品種別生産額の推移(図3-6-2)

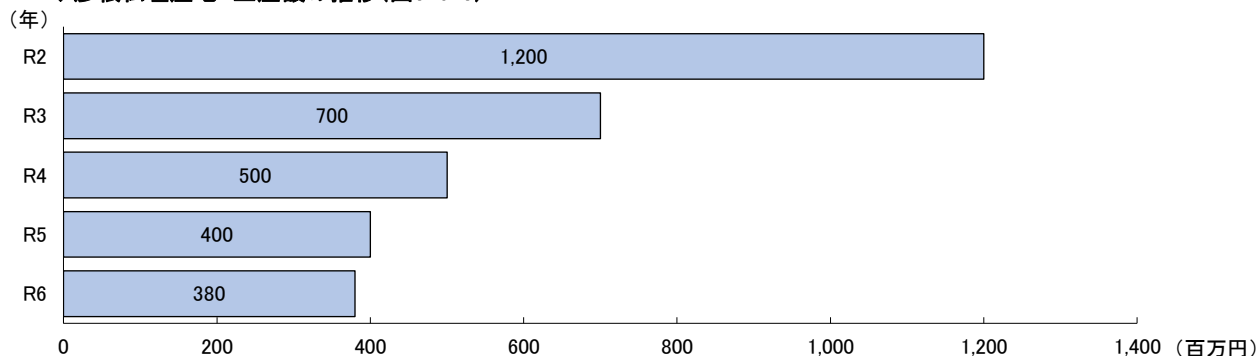


資料: 滋賀バルブ協同組合

③彦根仏壇

生産額は、年々減少傾向であるが、『彦根仏壇ビジョン策定委員会』にて製作した家紋ストラップ、ペーパーナイフの販売等、新商品の製作、商品化に取り組んでいる(図3-6-3)。

◆彦根仏壇産地 生産額の推移(図3-6-3)

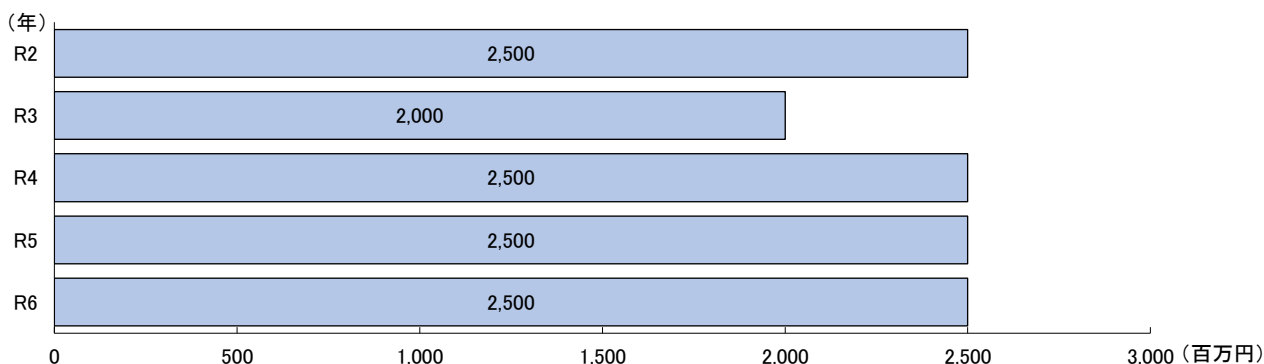


資料:彦根仏壇事業協同組合

④彦根ファンデーション

令和5年に引き続き、売り上げは横ばい傾向にある。人件費の高騰、資材の高騰により利益は減少傾向。課題として、製造現場で働く外国人技能実習生の確保についても厳しくなっている(図3-6-4)。

◆彦根ファンデーション産地 生産額の推移(図3-6-4)

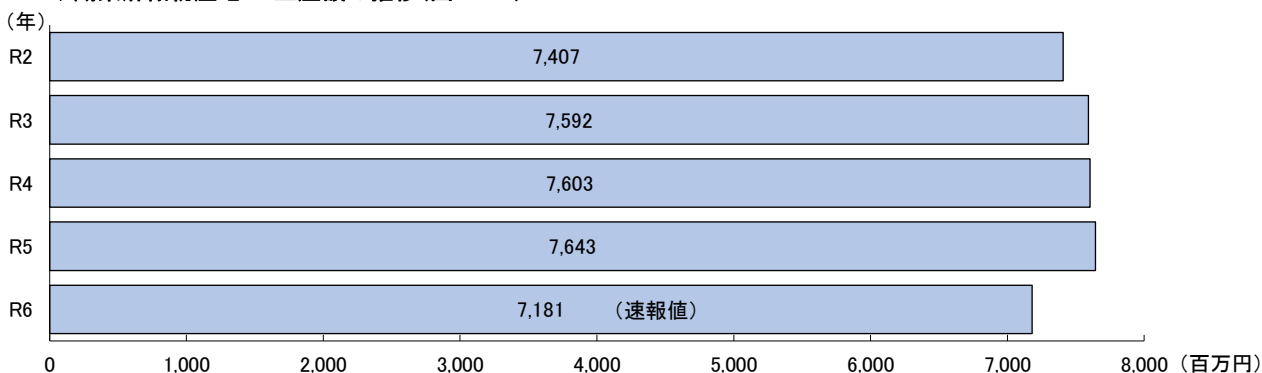


資料:ひこね繊維協同組合

⑤湖東麻織物

令和6年の生産額は、低迷している企業、新型コロナウイルスの影響による落ち込みから順調に回復している企業がある。円安の影響、原材料や光熱費の高騰、設備更新や修繕費、人件費増のため、段階的に価格に転嫁しているが、実質的な利益が圧迫されている状況にある。また、働き方改革、従業員の高齢化による生産性の低下や後継者・若年層人材不足による事業・技術継承が困難になってきていることも大きな課題となっている(図3-6-5)。

◆湖東麻織物産地 生産額の推移(図3-6-5)

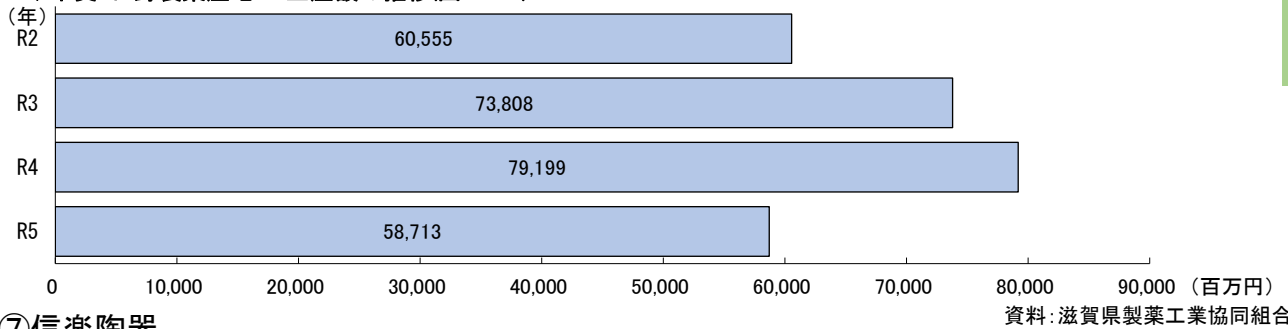


資料:湖東繊維工業協同組合

⑥甲賀・日野製薬

医療用の後発医薬品は国の使用促進施策もあって順調な推移となっているが、国の薬価制度を始めとした制度変更などが業界に与える影響は大きく厳しい環境が続いている。また、一般用医薬品については、大手製薬企業のOEMや大手チェーンドラッグストアのPB商品に取り組んでいるが、原材料の供給不安や原料価格の高騰、厳しい価格競争、納期、販売条件のもとでの取り組みとなっている。このため、新たな販路として、海外に目を向け越境ECの活用などに取り組む企業も出てきている。一方、配置用医薬品については、配置販売業者の高齢化と後継者不足等により、市場からの撤退が進むなど構造的な課題を抱えている(図3-6-6)。

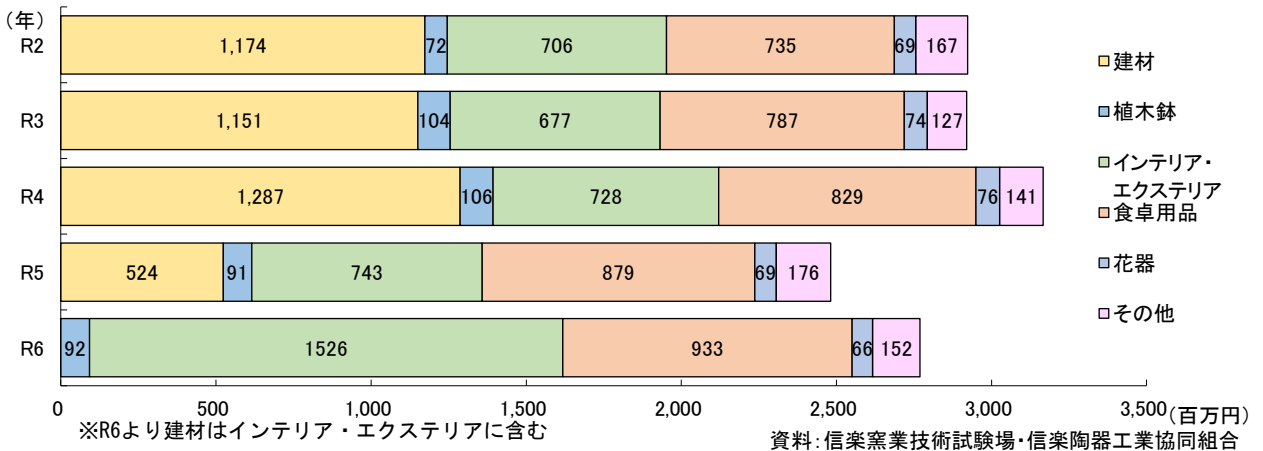
◆甲賀・日野製薬産地 生産額の推移(図3-6-6)



⑦信楽陶器

令和6年の生産額は浴槽をはじめとするインテリア・エクステリア等が前年比20%増と全体を押し上げる結果となった。食卓用品も6%増となり、全体の生産額は前年比112%増であった。観光客の増加による小売の好調さに加え、ネット販売や催事等の対面販売などで生活用品の動きが良く、これらに加えて浴槽・手洗鉢等が順調な動きを見せている事も生産額増加の要因となった(図3-6-7)。

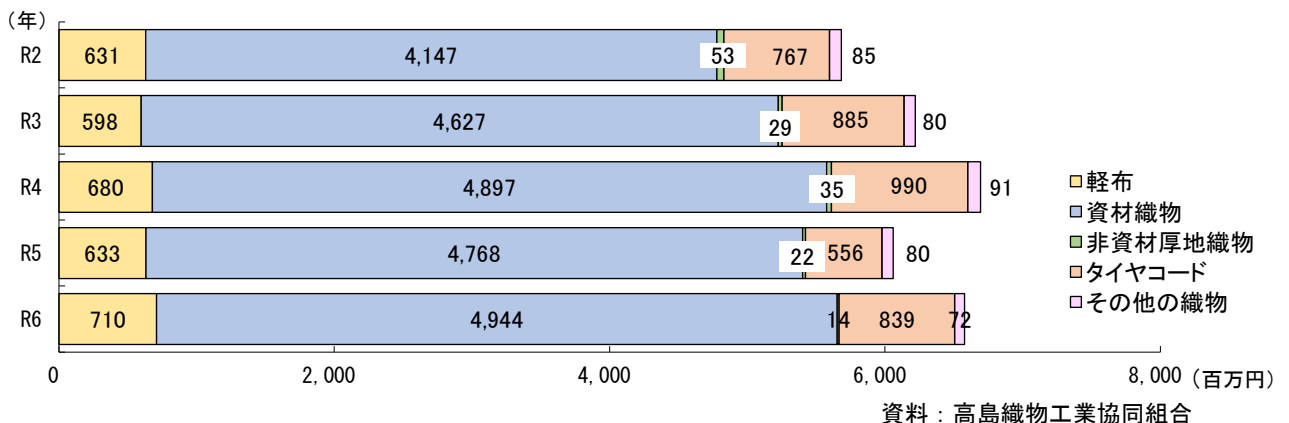
◆信楽陶器産地 品種別生産額の推移(図3-6-7)



⑧高島綿織物

軽布織物は前年比で約10%の増、厚織織物(資材織物、非資材厚地織物およびタイヤコード)は約8%の増となっている(図3-6-8)。

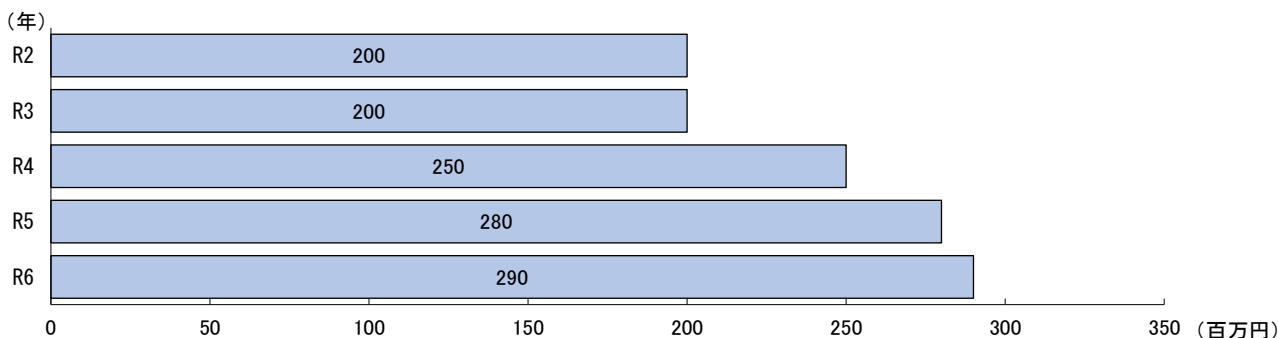
◆高島綿織物産地 品種別生産額の推移(図3-6-8)



⑨高島扇骨

令和4年から引き続き祭りの開催が復活してきたため、夏扇や鴨川といった、祭りに使用される扇子の需要が増加し、扇骨の需要も同様に増加傾向であった。(図3-6-9)。

◆高島扇骨産地 生産額(図3-6-9)



資料:滋賀県扇子工業協同組合

7. 伝統的工芸品

滋賀県には、長い歴史を有し、それぞれの地域の生活文化の結晶ともいえる伝統的な工芸品が数多く存在しており、実用性と美しさを兼ね備えた生活用品として、人々の生活に潤いと豊かさを実現するため、大きな役割を果たしてきた。これらの工芸品は、伝統性と手工業性を継承しつつ製造されており、地域に根ざした資源として地域経済の発展に寄与するとともに、地域文化を担う役割を果たしてきた。

県では、伝統的工芸品の振興を図るため、本県の多種多様な工芸品のうち、37品目(令和6年3月第12次指定時点)を指定している(表3-7-1)。

また、経済産業大臣指定伝統的工芸品は、彦根仏壇、信楽焼、近江上布の3品目である。

◆滋賀の伝統的工芸品一覧表(経済産業大臣指定伝統的工芸品を含む)(表3-7-1)

区分	番号	工芸品名	製造業者名	製造地域	電話番号	指定
織物・染織・組みひも・刺繍など	1	近江上布	滋賀県麻織物工業協	愛荘町	0749(42)3246	国
	2	網織紬	奥田武雄	長浜市	0749(76)0733	②
			奥田重之		0749(76)0369	
	3	秦荘紬	川口織物(有)	愛荘町	0749(37)3091	①
	4	綴錦	織匠[宗八](株)清原織物	守山市・米原市	077(583)5711	①
	5	正藍染	植西恒夫	湖南市	0748(75)0128	②
	6	手織真田紐	西村操	東近江市	0748(22)2652	②
	7	草木染手組組紐	(有)藤三郎紐	大津市	077(522)4065	②
	8	近江刺繡	近江美術刺繡工芸社	愛荘町	0749(42)2686	②
	9	彦根刺繡	(有)青木刺繡	彦根市	0749(22)1258	⑥
	10	楽器糸	西山生糸組合	長浜市	0749(82)4114	①
			木之本町邦楽器原糸製造保存会		0749(82)2935	
			丸三ハシモト(株)		0749(82)2167	
	11	鼻緒	滋賀県花緒サンダル組合	長浜市	*1 0749(62)1162	①
	12	特殊生糸	西村英雄	長浜市	0749(76)0236	①
13	押絵細工	東川雅彦	近江八幡市	0748(32)2254	①	
14	近江真綿	近江真綿振興会	米原市	*2 0749(54)0672	②	
15	輪奈ビロード	(株)タケツネ	長浜市	0749(62)0310	⑧	

陶器	16	信楽焼	信楽陶器工業協	甲賀市	0748(82)0831	国
	17	膳所焼	(有)膳所焼窯元陽炎園	大津市	077(522)6374	②
	18	近江下田焼	近江下田焼陶房	湖南市	0748(77)7457	⑥
	19	(再興)湖東焼	中川一志郎	彦根市	0749(24)6711	⑧
木・竹工品	20	提灯	かさぜん中川澄美	長浜市	0749(62)1187	⑦
	21	ろくろ工芸品	片山木工所	長浜市	0749(62)9804	①
	22	木製桶樽	村田茂朋	竜王町	0748(57)0650	②
	23	高島扇骨	滋賀県扇子工業協	高島市	0740(32)1580	④
	24	上丹生木彫	上丹生木彫組合	米原市	0749(54)0267	⑤
	25	八幡丸竹工芸品	(有)竹松商店	近江八幡市	0748(33)3268	⑦
仏壇	26	木珠(高級木製数珠玉)	(株)力ワサキ	近江八幡市	0748(33)5101	⑨
	27	彦根仏壇	彦根仏壇事業協	彦根市	0749(24)4022	国
	28	浜仏壇	浜仏壇工芸会	長浜市	0749(62)2414	①
和紙・文具・その他	29	鍔金具	辻清	長浜市	0749(62)3368	④
	30	近江雁皮紙	(有)成子紙工房	大津市	077(549)0323	②
	31	雲平筆	筆師第15世藤野雲平	高島市	0740(32)0236	①
			(有)大與	高島市	0740(22)0557	②
	32	和ろうそく	北村雅明	長浜市	0749(62)1074	⑥
			正木專治郎	愛荘町	0749(43)3072	②
	33	太鼓	二代目杉本才次		0749(43)5504	
	34	大津絵	高橋松山	大津市	077(524)5656	②
	35	長村梵鐘	(株)金壽堂	東近江市	0749(45)0003	⑪
	36	小幡人形	細居源悟	東近江市	0748(48)4075	⑤
37	愛知川びん細工手まり	伝承工芸愛知川びん細工手まり保存会	愛荘町	0749(42)4114	⑨	
38	いぶし鬼瓦	美濃邊鬼瓦工房	大津市	077(578)5333	⑩	
39	神輿	(株)さかい	野洲市	077(587)1178	⑩	
40	江州よしすだれ	(株)タイナカ	東近江市	0748(45)0336	⑪	
		よし藤田井中憲一		0748(45)0165		

※1 原田和装(株)方

※2 近江真綿工房 原田方

資料:滋賀県イノベーション推進課

1) 1、16、27は、経済産業大臣指定の伝統的工芸品

2) 経済産業大臣指定
知事指定 3品目、3件
37品目、43件

3) 滋賀県伝統的工芸品指定の変遷

- ①第1次指定(昭和59年度) 18品目、28件
- ②第2次指定(昭和60年度) 18品目、22件
- ③第3次指定(昭和61年度) 4品目、4件
- ④第4次指定(平成3年度) 4品目、4件
- 解除 3品目、4件(竹刀、下田焼、木製桶)
- ⑤第5次指定(平成6年度) 3品目、3件
- 解除 6品目、6件(高宮ささら、和ろうそく、提灯、揉唐紙、竹かご、お多賀杓子)
- ⑥第6次指定(平成10年度) 3品目、3件
- 解除 2品目、3件(竹刀、鍔金具)
- ⑦第7次指定(平成14年度) 3品目、3件
- 解除 3品目、4件(網織綿、高島虎斑石硯、竹製花籠)
- ⑧第8次指定(平成18年度) 2品目、2件
- 解除 4品目、5件(江州燈籠、竹皮細工、提灯、網織綿)
- ⑨第9次指定(平成22年度) 2品目、2件
- 解除 3品目、3件(八田焼、竹刀、甲良臼)
- ⑩第10次指定(平成26年度) 2品目、2件
- 解除 4品目、4件(本藍染、高島虎斑石硯、和ろうそく、八幡瓦(鬼瓦))
- ⑪第11次指定(平成30年度) 2品目、3件
- 解除 2品目、2件(竹根鞭細工、梵鐘)
- ⑫第12次指定(令和3年度) 0品目、0件
- 解除 2品目、2件(ピロード、ろくろ工芸品)